

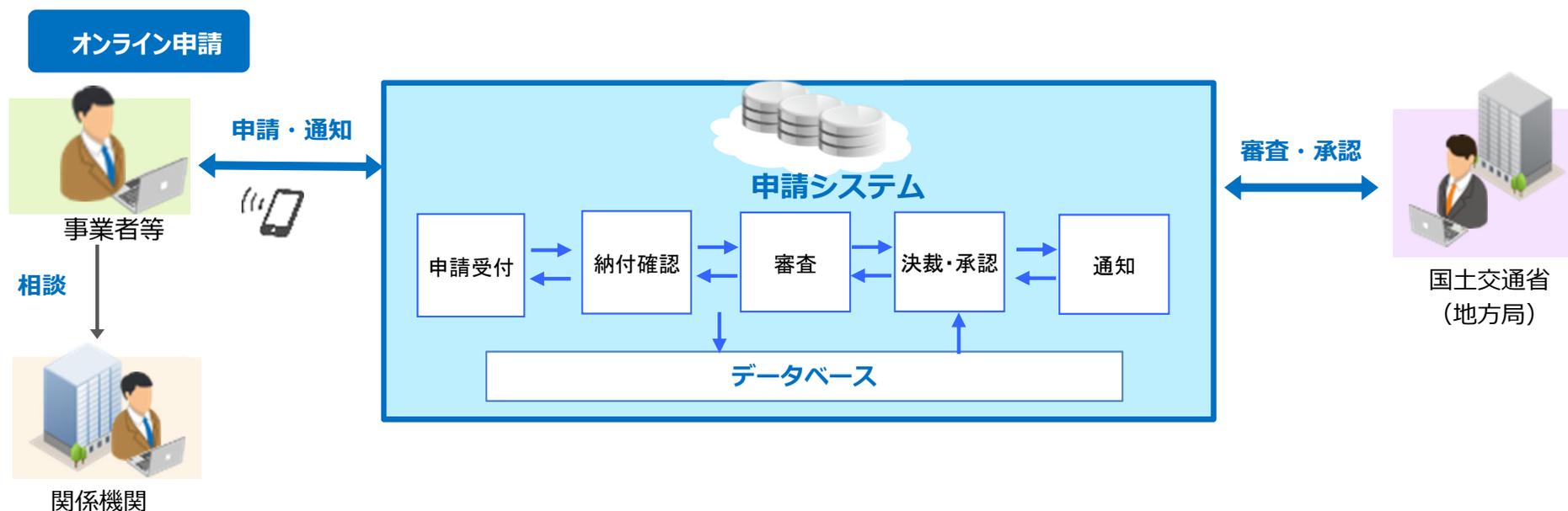
# 行政手続オンライン化に向けた申請システムの構築

- 規制改革実施計画（令和3年6月閣議決定）に基づき、令和7年までに書類の提出等を求める国土交通省所管の行政手続をオンライン化すべく、申請の受付→納付確認→審査→決裁・承認→通知等の手続に係る一連のプロセスを一貫して処理できる申請システムを構築予定

【参考】規制改革実施計画（令和2年7月17日閣議決定） 抜粋

鉄道やバス等、各交通事業者から国等に提出する申請・届出のデジタル化や機械判読可能なデータの整備について検討を進める。

## 手続業務一貫処理システム [イメージ]

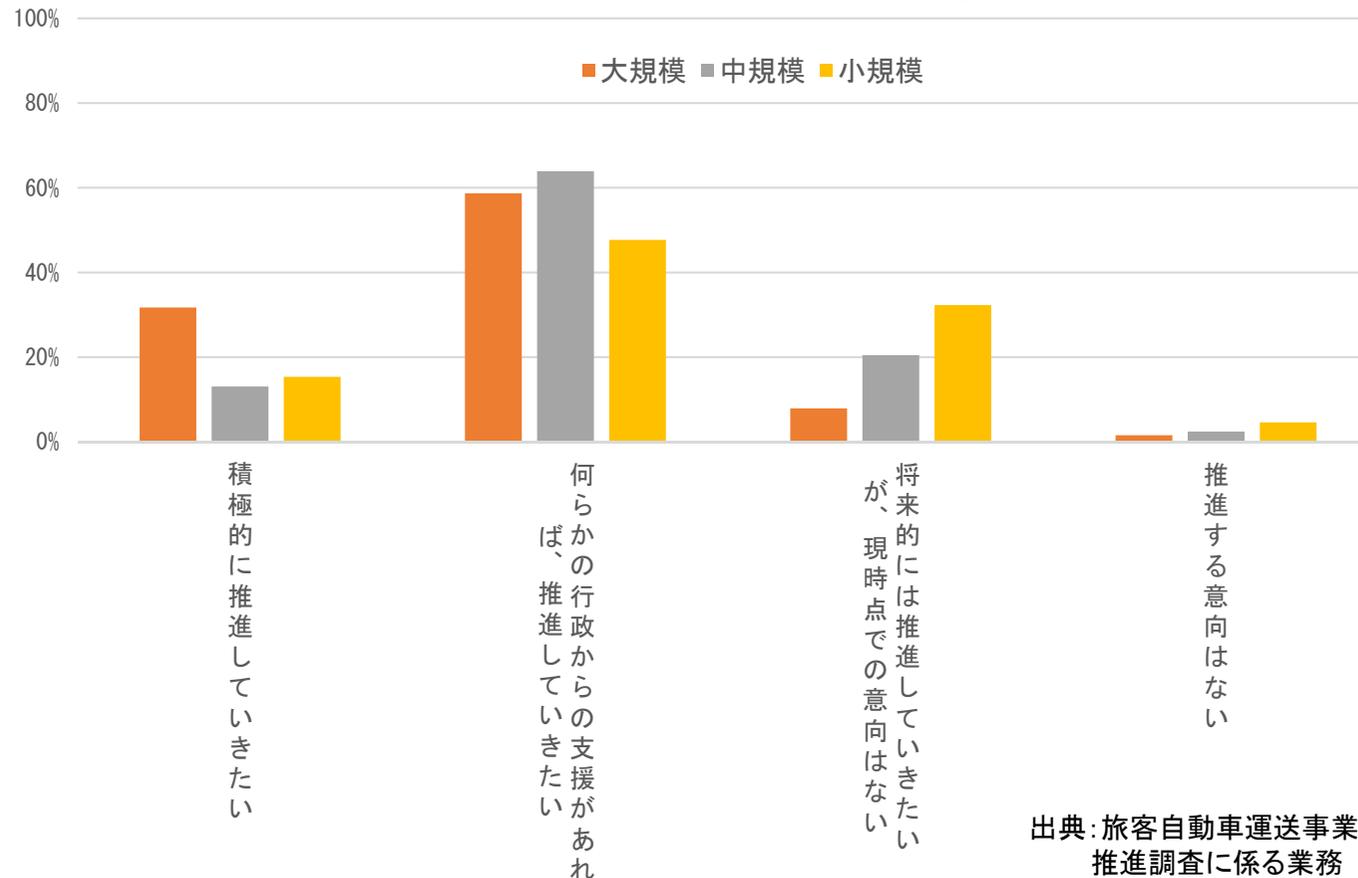


- # クラウドサービスを採用し、申請者がスマホ、PC等からオンライン申請できるワンストップ
- # ひとつのID/PWで、様々なサービスにログインできる、シングルサインオン(SSO)
- # 申請から審査、承認、通知まで全てオンラインでできるデジタルファースト
- # 一度提出した情報を活用して申請できる、ワンスオンリーを実現
- # 制度担当職員自らが申請画面を構築することによる、開発の手間とコストの削減

# バス事業者の業務フローと必要となるデジタル技術

- バス事業には、安全管理、運行関係、計画策定、車両関係等、多様な業務が存在。
- DXによる安全性や生産性の向上への期待は高いが、コロナ禍の影響もあり、投資は進んでいない。
- バス事業者のDXについては、事業者の業務フローを踏まえて、経営に資するかどうか総合的に検討することが必要。

事業者規模別・デジタル機器等の活用意向



# バス事業者におけるDXの状況

## 事業者へのヒアリング調査の結果

### 現状の課題

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による**収入の減少により投資が難しい**。
- **イニシャルコストだけでなくランニングコストを含めた費用負担が大きい**。
- 人材不足や人材の高齢化、法令遵守は業界全体の継続的な課題。

### 実態

- 効果が高かったデジタル機器等としては、乗合バス事業・貸切バス事業ではバスロケーションシステム、タクシー事業では配車アプリを挙げる事業者が多かった。
- 一部の事業者では他社に先駆けた独自の取組みもあり、他の事業者にとっても有用と思われ事例が多くみられた。
- 一方で、**多くの事業者において業務のデジタル化が十分に進んでいないのが現状**。
- デジタル化に比較的積極的な事業者においても、業務ごとに個別のシステムを利用していたり、サービスの多様化により複数のデジタル機器等を操作する必要がある等に負担を感じている。

### デジタル化

#### ニーズ

- すべての事業区分において、乗客データ等を活用した需要予測や、それに基づく最適ダイヤの作成・効率的な配車等、**“データの活用”による利用者利便の向上や収益性の向上**を求める事業者が多かった。（費用負担やデータの正確性、管理の煩雑さ等を理由に行えていないのが現状）
- 配車センターの集約・リモート化やIT点呼の導入等に期待する声も多く、人件費削減に向けた取組みが求められている。

#### 障壁

- デジタル化に係る**費用（イニシャルコスト、ランニングコスト）**の捻出、高齢化している**運転者のITスキル**、業務プロセスの変更に対する**現場の抵抗**を挙げる事業者が多かった。
- デジタル化を推進はしたいものの、相談窓口がないと感じている事業者も多かった。業界内外で情報交換等を行える場あれば有効という声があった。

# バス事業者のDXに係る有識者の意見

- デジタル化によるメリットは、システムや機器同士の連携がとれること、得られたデータを行政手続きにも活用できることなど複数ある。
- 現在は、デジタル機器や技術に目を向けるばかりで、それによる効果まで検討がされていない。
- 事業者にとっては、DXに要する費用とDXにより削減されるコストのバランスが重要。
- 特に中小企業については、すぐに効果を実感できるDXから取り組むことが重要。  
そのためには、デジタル化に向けた業務分析が必要。

出典：旅客自動車運送事業におけるICT活用によるデジタル化の推進調査に係る業務実証調査計画書(国土交通省)

## 【参考】バス事業者の業務内容と有効なデジタル技術の例

業務の種類別	業務の内容	有効なデジタル技術の例
運行関係	運行ダイヤ作成・調整 乗務員の運行管理	ダイヤ編成システム 乗務シフト自動作成システム
車両関係	車両用資材の調達 車両の点検、整備 燃料の需給計画立案・調達	
経営管理	事業計画の策定 新規路線の検討	ODデータ取得・分析システム

# バス事業者における今後のDXの方向性

- バス事業者のDXと国のDXを両輪として進めることが重要。
- 国土交通省として、旅客運送事業分野におけるDXに関する調査等を通じて、バス事業者のDXを推進するとともに、国土交通省及び政府全体の行政手続きのデジタル化の検討を行い、国の行政分野のDXに取り組んでいく。

## バス事業者のDXによる効果

- ・業務負担の軽減による生産性の改善
- ・生産性の改善による利用者サービスの向上 等

## 国の行政分野のDXによる効果

- ・許認可業務の生産性向上
- ・データの蓄積による運輸行政の改善 等

## <バス事業者のDXの推進のために必要なこと>

- バス事業者の業務フロー分析
- 業務フローごとに効果的なDXの検討

## <国のDXの推進に向けた対応>

- 事業者の業務効率化に資する電子化の検討（GTFS-JPの活用に係る検討を含む。）

事業者と国のDX双方を推進し、事業者の経営効率化・業務負担の軽減等による生産性の向上を図る

「標準的なバス情報フォーマット」とは、バス事業者と経路検索等との情報の受渡しのための共通フォーマットです。

【参考】規制改革実施計画（令和2年7月17日閣議決定） 抜粋

- ・(略)更に普及が進むよう、標準的なフォーマット使用のための補助金制度の創設等、必要な措置を講ずる。(略)
- ・(略)データ整備が進むような環境づくりを更に進めるとともに、具体的なロードマップやKPIを定め普及させていく。

## 制定の背景

- ・「交通政策基本計画」や「明日の日本を支える観光ビジョン」にて、**中小のバス事業者も含めた経路検索の実現に向けた取り組み**が強く要請
- ・国土交通省に「バス情報の効率的な収集・共有に向けた検討会」を設置し、経路検索に資する交通に関する情報の受け渡しを効率的に行うための「標準的なバス情報フォーマット」を制定（2017年3月）

## 構成

- ・静的データ「**GTFS-JP**」と動的データ「**GTFS Realtime**」の2種類のフォーマットを包含
- ・北米や欧州等、国際的に広く利用されている「GTFS」(General Transit Feed Specification)と互換性を確保



→ 情報提供や交通分析に利用、**バスロケとも連携可能**(GTFS Realtime)

## 普及に向けて

- ・GTFS形式によるデータ整備・出力を可能とするシステムを導入する事業者に対し、費用の一部を支援（2020年度：10事業者、2021年度：18事業者）
- ・経路検索事業者の掲載基準の変更等、昨今の情勢を踏まえ、「GTFS-JPに関する検討会」を開催、「静的バス情報フォーマット（GTFS-JP）仕様書」[第3版]を策定（2021年7月）
- ・GTFSの導入を企図する事業者・自治体に対し、本省・運輸局にて講習会を複数実施

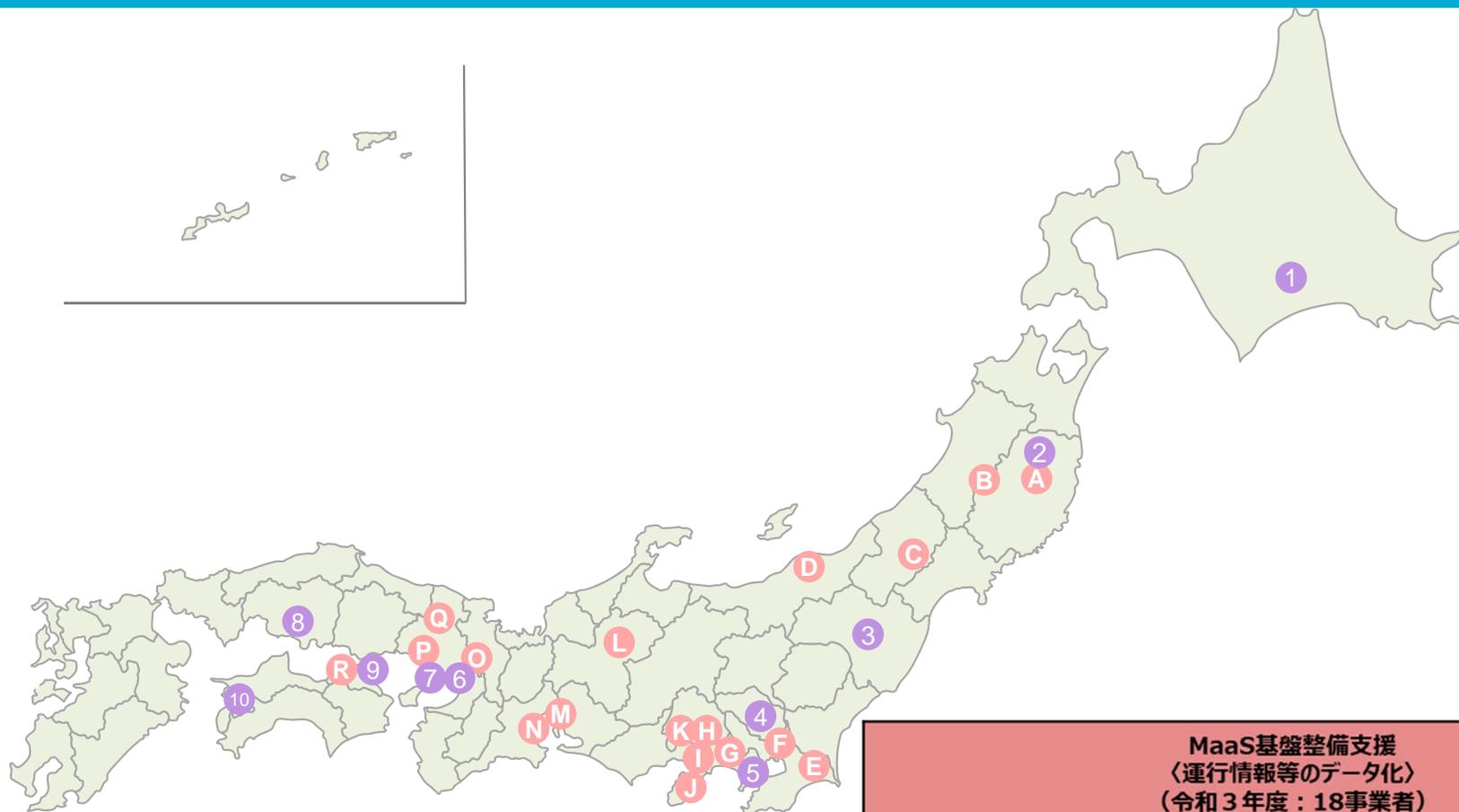


## 活用状況

**全国382**のバス事業者や自治体で活用  
(2021年3月時点、国土交通省調べ)

→2025年度末目標：**900** 事業者・自治体  
(第2次交通政策基本計画より)

# (参考)地域交通データ化推進事業による支援



MaaS基盤整備支援 〈運行情報等のデータ化〉 (令和2年度：10事業者)	
1.北海道拓殖バス(株)〈北海道帯広市〉	6.兵庫県地域公共交通MaaS推進協議会 〈兵庫県神戸市〉
2.岩手県北自動車(株)〈岩手県盛岡市〉	7.みなと観光バス 〈兵庫県神戸市〉
3.福島交通(株)〈福島県郡山市〉	8.(公社)広島県バス協会 〈広島県広島市〉
4.川越観光自動車(株)〈埼玉県川越市〉	9.ことでんバス(株) 〈香川県高松市〉
5.横浜市交通局 〈神奈川県横浜市〉	10.宇和島自動車(株) 〈愛媛県宇和島市〉

MaaS基盤整備支援 〈運行情報等のデータ化〉 (令和3年度：18事業者)	
A.岩手県交通(株)〈岩手県盛岡市〉	J.富士急シティバス(株)〈静岡県沼津市〉
B.岩手県西和賀町〈岩手県西和賀町〉	K.富士急静岡バス(株)〈静岡県富士市〉
C.山交バス(株)〈山形県山形市〉	L.濃飛乗合自動車(株)〈岐阜県高山市〉
D.新潟県内高速バスネットワーク協議会 〈新潟県新潟市〉	M.名鉄バス(株)〈愛知県名古屋市〉
E.千葉交通(株)〈千葉県成田市〉	N.三重交通(株)〈三重県津市〉
F.東京BRT(株)〈東京都中央区〉	O.京都市交通局〈京都府京都市〉
G.富士急湘南バス(株)〈神奈川県足柄上郡〉	P.兵庫県地域公共交通MaaS推進協議会 〈兵庫県明石市〉
H.富士急バス(株)〈山梨県南都都留郡〉	Q.全但バス(株)〈兵庫県養父市〉
I.富士急モビリティ(株)〈静岡県御殿場市〉	R.香川県三豊市〈香川県三豊市〉

※カッコ内は主な対象地域